

## 『地域の学校教育のあり方を考える会』

### 統合中学校の場所について

---

## 通学時間、通学方法について

---

多可町小中学校規模適正化基本方針では、

#### ○通学距離

中学校は、徒歩および自転車により**概ね6 km以内**とします。  
ただし、6 kmを超える場合には、バスなどの通学手段を検討します。

小学校は、徒歩により**概ね4 km以内**とします。  
ただし、4 kmを超える場合には、バスなどの通学手段を検討します。

## 通学時間、通学方法について

---

多可町小中学校規模適正化基本方針では、

### ○通学時間

通学時間については、小学校、中学校ともバス等を利用する場合も含めて、概ね30分～60分程度になるように配慮します。

## 通学時間、通学方法について

---

### 【現状】

- ・ 路線バスを利用しています。  
(杉原谷小学校、八千代小学校、加美中学校)
- ・ 利用料は、町が全額負担しています。

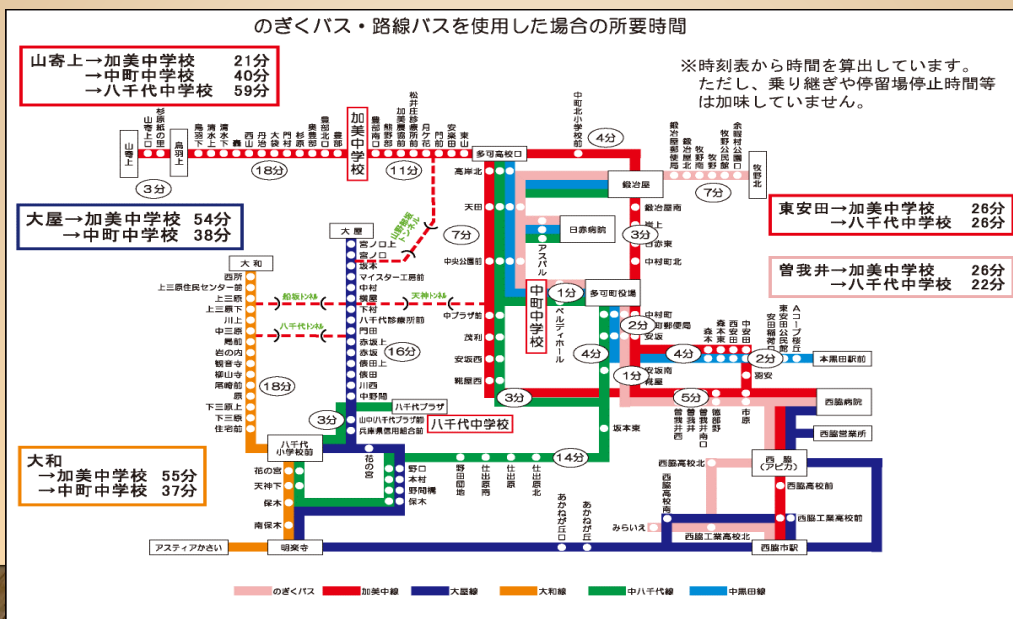
# 通学時間、通学方法について

(分)

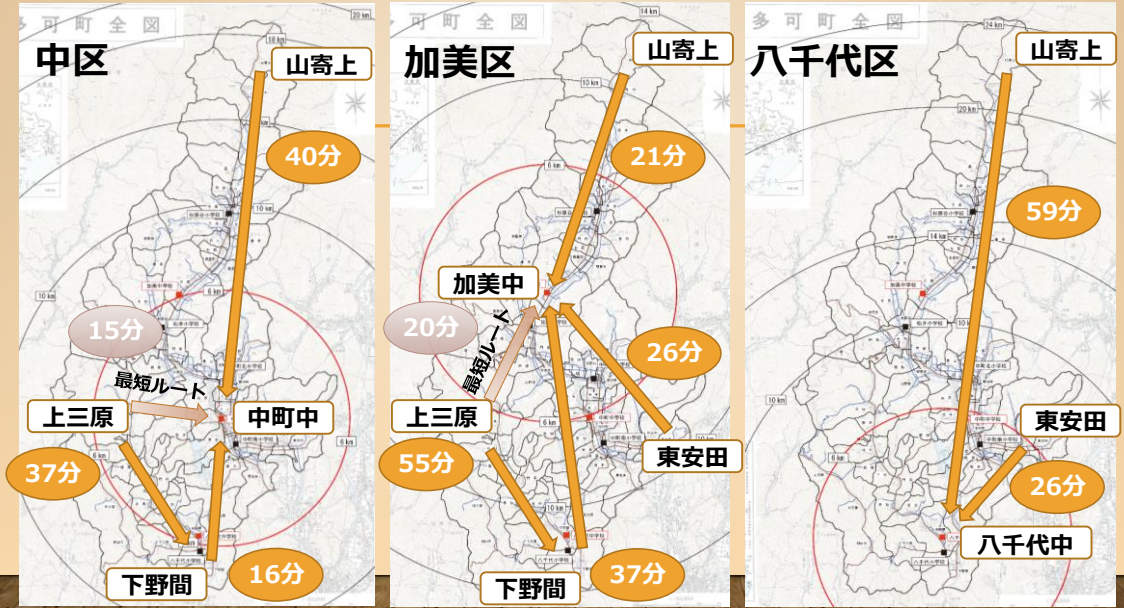
	中南小	中北小	松井小	杉原谷小	八千代小	中町中	加美中	八千代中
最大 通学時間	<b>70</b>	<b>50</b>	<b>55</b>	<b>45</b>	<b>60</b>	<b>40</b>	<b>60</b>	<b>60</b>
通学方法	徒 歩	徒 歩	徒 歩	徒 歩	徒 歩	自 転 車	自 転 車	自 転 車
集 落	西安田 (長野)	門前	豊部 (郷領)	観音寺	仕出原	東安田 西安田 曾我井	轟	上三原 大屋

# 通学時間、通学方法について

既存のルートと所要時間

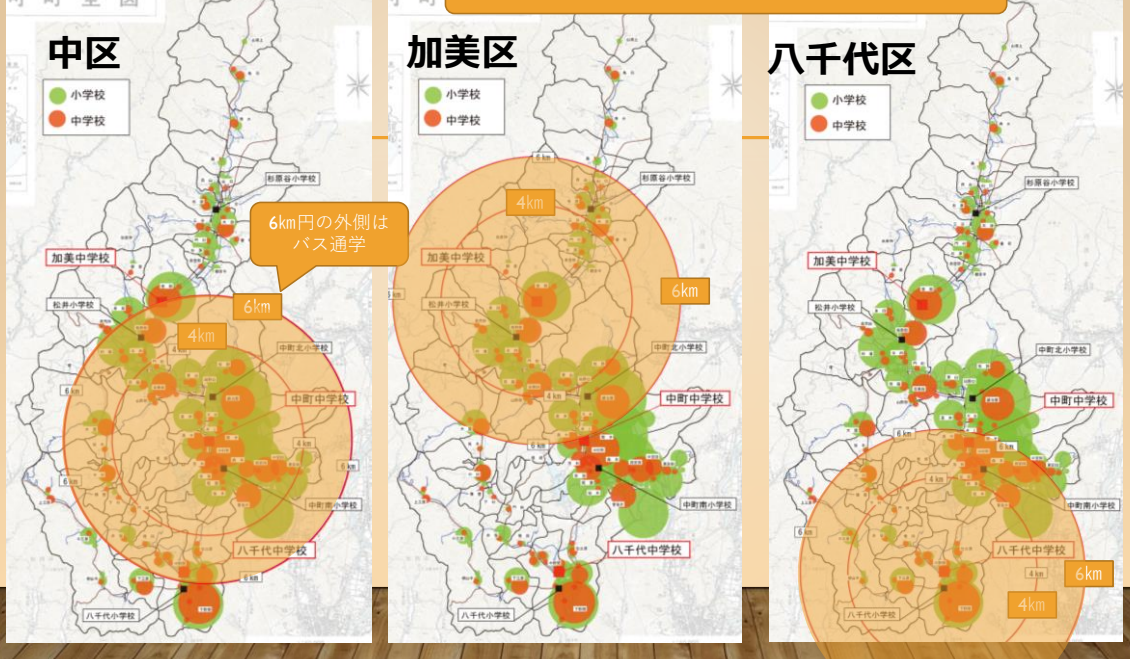


## 各区ごと通学時間（路線バスを活用した場合）



## 児童生徒の集落別分布図

バス通学者多い = 輸送（通学）コスト増



## 通学時間、通学方法について

**具体的な通学方法については、統合準備委員会において協議します。**

### 【これまでの協議での課題】

- ・安全安心な通学を最優先に。
- ・できる限り通学時間など、保護者や子どもの負担や格差が生まれないように。
- ・公共交通（バス）を維持しながら、スクールバスも検討する。

## 通学時間、通学方法について

### ■ 他市町の事例

#### 【丹波市 山南中学校】

山南地区 路線バスの増便

和田地区 路線バスの増便+延伸

#### 【神河町 神河中学校】

路線バス+スクールバス 3台

#### 【加東市】

東条学園（小・中学校）スクールバス 4台

社小・中学校 スクールバス 12台（予定）

## 中学校を1校に統合した場合（40年間）

	中町中学校利用	加美中学校利用	八千代中学校利用	その他
統合時の導入経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎 建替</li> <li>・南・北校舎解体</li> <li>・仮設校舎等</li> </ul> 計 26.7億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北校舎 建替・増築</li> <li>・北校舎解体</li> <li>・仮設校舎等</li> </ul> 計 9.8億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・格技場 新築</li> <li>・校舎 増築</li> <li>・仮設校舎等</li> </ul> 計 10.7億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎 新築</li> <li>・体育館 新築</li> <li>・格技場 新築</li> </ul> 計 26.1億円
40年間維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎等の改修</li> <li>・光熱水費</li> <li>・通学バス経費</li> </ul> 計 36.3億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎等の改修等</li> <li>・光熱水費</li> <li>・通学バス経費</li> </ul> 計 45.1億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎・体育館の建替</li> <li>・校舎等の改修</li> <li>・光熱水費</li> <li>・通学バス経費</li> </ul> 計 61.7億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎等の改修等</li> <li>・光熱水費</li> <li>・通学バス経費</li> </ul> 計 33.7億円
合計	63.0億円	54.9億円	72.4億円	59.8億円

ただし、用地費は含んでいません

## 中学校を1校に統合した場合（60年間）

	中町中学校利用	加美中学校利用	八千代中学校利用	その他
統合時の導入経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎 建替</li> <li>・南・北校舎解体</li> <li>・仮設校舎等</li> </ul> 計 26.7億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北校舎 建替・増築</li> <li>・北校舎解体</li> <li>・仮設校舎等</li> </ul> 計 9.8億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・格技場 新築</li> <li>・校舎 増築</li> <li>・仮設校舎等</li> </ul> 計 10.7億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎 新築</li> <li>・体育館 新築</li> <li>・格技場 新築</li> </ul> 計 26.1億円
60年間維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎等の改修</li> <li>・光熱水費</li> <li>・通学バス経費</li> <li>・格技場の建替</li> </ul> 計 61.4億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎等の改修等</li> <li>・光熱水費</li> <li>・通学バス経費</li> <li>・校舎・体育館・格技場建替</li> </ul> 計 85.2億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎・体育館の建替</li> <li>・校舎等の改修</li> <li>・光熱水費</li> <li>・通学バス経費</li> </ul> 計 82.5億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎等の改修等</li> <li>・光熱水費</li> <li>・通学バス経費</li> </ul> 計 59.5億円
合計	88.1億円	95.0億円	93.2億円	85.6億円

ただし、用地費は含んでいません

## 小中一貫教育とは

**小学校と中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育です。**

【取り組み事例】

- ・学習面や生活面のルール統一。
- ・中学校教員が小学校へ乗り入れ、より専門的な授業を展開する。
- ・学校行事等の合同実施や異学年が相互に参加して授業を展開する。
- ・地域行事への合同参加。（地域住民との連携を図る）

## 小中一貫教育のメリット・デメリットについて

	メリッ ト	デメリッ ト
小中一貫教育	<ul style="list-style-type: none"><li>○小学校から中学校への接続がスムーズに行うことができ、中1ギャップ、不登校の減少につながる。</li><li>○小学校時の学習で定着しきれなかった内容を中学校の課程において補うことが容易になる。</li><li>○異年齢とのコミュニケーションの機会が増える。</li><li>○小学生の中学生へのあこがれや中学生の小さい子への思いやりが育まれる。</li><li>○小学校の時から子どもを見続けている先生が中学校にもいるので安心。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○小学校と中学校の節目がなくなり、新たな気持ちの切り替えや進学する充実感がなくなる可能性がある。</li><li>○小学生が中学生を怖がってしまうのではないかという心配がある。</li><li>○小学校と中学校の組織文化、習慣の違いが大きく、その調整に時間がかかるなど</li></ul>

（参考：H29.3小中一貫教育の導入状況調査について）

## 小中一貫教育について

### ■小中一貫校

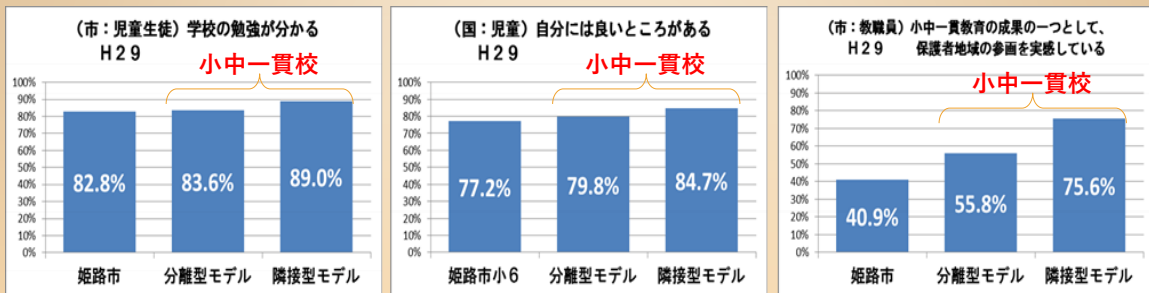
	能勢町立能勢小中学校	姫路市立白鷺(はくろ)小中学校
開始年度	平成28年度	平成30年度
施設の状況	新設 施設一体型	改修 施設隣接型
児童・生徒	小学286人、中学181人	小学648人、中学294人
クラス数	小学12学級、中学6学級	小学校19学級、中学校9学級
部活動	9種目 野球、バレー、バスケ、卓球、テニス、バトミントン、陸上、吹奏楽、文芸部	11種目 野球、バレー、バスケ、卓球、テニス、陸上、吹奏楽、美術、茶道、和太鼓、ソーラン部

6小2中を1小1中へ統合 人口約9532人  
R3小学校新入生47人 スクールバス10台

平成21年度に2小学校を統合し、小中一貫教育を実施。平成30年度に義務教育学校へ。

## 小中一貫教育について

### ■姫路市の調査結果 白鷺小中学校



- 普通の学校よりも、小中一貫校がより高い結果が出ている。
- 小中一貫校の中でも、施設が隣接している方がより高い結果が出ている。



## 近隣施設との連携

### 『(仮称)生涯学習センター』ってどんな施設？

生涯学習に関する情報提供機能、学習スペースや交流機能、図書館などを備えた施設です。



中プラザ + 図書館

## (仮称)生涯学習センター建設候補地

- アスパルや中央公園周辺を候補地として検討しています。
- 近隣施設との相互利用により気軽に立ち寄ることができ、利便性や集客効果を期待しています。
- 学校施設との相性もよく、いろいろな世代に使っていただきたい施設です。

